

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2005/04/01 Vol. 55 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会/平成 17 年第 1 回定例会報告 (3)

いつもお世話になっております。印西市議会第 1 回定例会 (3 月議会) は、3 月 25 日 (金) まで開催され、閉会しました。今回は、来年度予算の審議結果についてご報告していきたいと思ひます。

当初予算案を訂正し、可決しました。

全議員で構成する「予算審査特別委員会」にて、来年度の当初予算案を委員の反対多数で否決したのち、3/24 (木曜日) に執行部より、以下の 2 点の「訂正」があり、質疑 / 討論の後、採決が行われて、訂正予算を議員の賛成多数で可決しました。(12(賛成) / 7(反対) 当日の出席議員数 20 名*)

*現在の議員数は 23 名です。議会議長と長期病欠議員、および当日採決に参加しなかった 2 人の議員を除いた議員にて採決を行いました。私も賛成しました。

当初予算から何が訂正となったのか？

この紙面前号にてお伝えしましたように、以下の 2 つの事案を削除し、訂正議案とされ、審議が行われました。

- 1) 松山下公園の体育館建設 本年度予算 500,000 千円
(当初予算では継続日として平成 18 年度 1,400,000 千円、平成 19 年度 1,874,000 千円
合計 3,774,000 千円を計上)
- 2) 北総線への定期券補助を巡って ~ 5 年間の債務負担行為を削除。
債務負担行為 (抜粋して記載)
北総線地域限定通学定期企画乗車券負担金
自 平成 17 年度 至 平成 21 年度 負担金 552,860 千円以内

(ぐんじとしのりから市民の皆様へ / ぐんじとしのりの考え方)

「北総線 地域限定通学定期企画乗車券(通学定期券)」への補助は実施されます！

松山下体育館の体育館建設を巡る案件については市民の皆様からも異論をお聞きすることはありませんでした。ここまで豪華な施設が必要でしょうか？ この案件については、多くの議員からも、「市民のニーズ把握、説明責任」、「体育館の場所」、そして「工事の発注先について」等々、多くの疑問が出されて、執行部としても取り下げ再度検討をすることで約束がされました。

採決当日の朝まで、「北総線への通学定期券補助」についてはもめていました。上に記載した反対票は「北総線への通学定期券補助」の内容に起因しております。私は今回の案件については、北総線沿線の 2 市 2 村が共同歩調をとり、北総鉄道に対して「運賃の適正化」に向けての圧力をかけるものと考え、反対者の一部から聞かれた JR 成田線やバス通学者に対する補助とは別に考えるべきだと思っております。その意味で私はこの案件には全面的に賛成し、執行部予算を踏襲する形での原案採決を望みましたが、結果として「債務負担行為」を外した形での採決が行われることになりました。(平たく申しあげると債務負担行為を外して単年度で補助を行っていくものです。)当初案では、印西市長をはじめとする市の執行部が市民との約束の意味で 5 年間の時限を設けて、債務の履行を約束するといった債務負担行為を提案しました。しかし、市民の代表である議員の賛同を

得られずに、このようなかたちで訂正案がでてくるのは私は非常に残念でしたが、力及ばず苦渋の選択で賛成することにしました。私は、この予算を可決し、4月から市民にむけてサービスを提供しなくてはなりませんでした。*

北総鉄道では、割引金額で市民が通学定期券を購入できるように、北総鉄道では既に機械設備やコンピュータシステムのソフトを変更しています。簡単に申しあげると今回の変更予定に関して、連絡する鉄道各社へ説明を行い、スタンバイできている状況だと聞いています。この状況を止めるわけには行きません。再来週から学校が始まります。4月当初からの実施には最後のチャンスであり、議会の過半数を制する為に妥協を強いられたこととなります。

北総線への通学定期券補助については賛否両論あるのが事実です。しかし、街の発展を今後考えていくためには、今回は第一ステップとして取り組みをしたとだけいただければ幸いです。

私たちは、「運賃の適正化」について真剣に取り組んでいく必要があると思います。

今回の措置で恩恵を受けられなかった方々に対して何をすべきか？

そしてJR成田線やバス通学者に対する施策はどうあるべきか？

JR成田線沿線にお住まいの市民について取り残されていく感を抱かせないように何ができるか。

皆様と考えていきたいと思ひます。

*もしも、訂正予算が通っていなければ、どうなっていたのでしょうか？

通年の当初（訂正）予算が年度開始（4月1日）までに成立する見込みがない場合には、議会の承認まで必要な期間を想定して、一定期間にかかる予算を作成します。これを「暫定予算」といいます。通常この「暫定予算」は本来の予算が成立するまでの間、行政の中断を避けるために編成される、いわば「つなぎの予算」です。この予算の内容については、法令上の制限はありませんが、一時的かつ、つなぎの予算であること、また、議会の審議、議決に急を要することから、職員の人件費をはじめとした必要最小限度の義務的経費等を中心に計上し、政策的内容は計上しないことが多いのが通例です。したがって今回予算案を否決した場合には、北総線の通学定期券補助のみならず、あらゆる市民へのサービスが止まってしまうことが想定されました。私はなんとしてもこの暫定予算を避けたいと考え、債務負担行為を外すことに同意しました。

（東京都小金井市では、駅前再開発の手法を巡って市長と議会が対立したため、昨年4月、5月だけの暫定予算を組みましたが、その後も市長と議会の対立は平行線を辿り、最終的に6ヶ月の暫定予算を実施しました。この結果、市が行う予定だった、コミュニティバスの新路線開設など91の事業が見直されたほか、小学校の耐震工事などの12の事業が来年度以降に延期されるということになりました。ちなみに同市では来年度（平成17年度）予算も議会の承認が得られず「暫定予算」となっています。）

北総線の通学定期券を購入しようと考えていますが、どうしたらいいのでしょうか？

詳細は4/1発行の広報いんざいにて記載される予定ですが、印西市民であることを証明するための市役所発行の書類を持参し（有料の住民票ではないと聞いています。）駅窓口で購入すると聞いております。

お急ぎの方は、印西市役所 TEL 42-5111(代表)迄

（交換手さんに「北総線地域限定通学定期企画乗車券」の担当につないでほしい旨、お伝えください。）

= 議会議決が24日までずれたため、市役所と北総線の最終決定ものびているようです。

北総線の現状について報告してまいります。

今回の予算審議に先立ち、会派「市民自治ネットワーク」(ぐんじとしのり、ますだようこ)では3/23(水曜日)に北総鉄道株式会社を訪問し、企画部の小江取締役と2時間にわたり意見交換しました。役員が考える「現在の経営状況、鉄道マンとしてのこの地域にかける思い等々」今後この紙面で紹介し、皆様と北総線のありかたについても考えていきたいと思ひます。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も3月議会の報告を行ってまいります。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

ぐんじとしのり